

# Libraree

令和2年が始まりました。今年も吉高図書館を宜しくお願いします。今月末で【多読賞】が決まります。令和初の多読賞はどんな顔ぶれになるのでしょうか。また26日にはく第6回全国高等学校ビブリアバトル>が行われます。あの箱根駅伝がスタートする読売新聞本社横にある、よみうり大手町ホールが会場となります。本の甲子園と言われるだけあり、47都道府県の代表が競う大会です。それに山梨県代表として、本校2-2の長田優衣さんが出場します。現地での応援は難しいですが、心の中で大手町ホールにエールを送ってください。ゲストは山梨出身の辻村深月さん。大会の様子は後日報告します。

## 図書館からのお願い

3年生は自由登校になるので、  
1月中に借りている本を返却してください。  
まだ借りていたい人は申し出ましょう。



## 『Love Letter』から **ラストレター** 岩井 俊二 文藝春秋

17日に公開する『ラストレター』。この映画には岩井俊二監督自らが書いた原作があります。題名の通り、手紙がキーとなる物語。1995年に『Love Letter』という、同じ監督の作品&小説もあり、こちらも手紙が重要な役割を果たす、すれ違い、行き違いが切ないラブストーリー。両作品ともに、中学時代と大人になってからの、両軸で展開していくので、高校生も共感できるはず。『Love Letter』の方では、図書館の、今はなくなってしまった図書カード(本の後ろに貼ってあり、借りたら名前を書くもの)が重要な役割を果たし、そしてある種のラブレターとなっています。両作品を読み比べ、観比べてみると、より深く二つの作品を味わえるでしょう。

ラストレター⇒君にまだずっと恋してるって言ったら信じますか？ 亡くなった姉の未咲の代わりに同窓会に出た裕里は、初恋相手の鏡史郎と再会し、姉のフリをしたまま文通を始めてしまう。彼らを繋いだ手紙は、姉の死の真相、そして過去と現在、心に蓋をしてきたそれぞれの初恋の想いを、時を超えて動かしていく。

文藝春秋

雪山で死んだフィアンセ・樹(いつき)の三回忌に、卒アルを見た博子は、彼が中学時代に住んでいた小樽へ手紙を出す。今は国道になっているはずの住所から返事が届き、奇妙な文通が始まる。自分の知らない中学生の樹を知ることになり、やがて博子は彼の幼い恋心に気付き・・・。

ラブレター

角川書店

## 多読賞2019

1月29日(水) 締切

1~10位までの多読者に素敵な賞品が!



# New Arrival Books

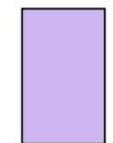
■3つの東京オリンピックを大研究 全3 岩崎書店

オリンピック



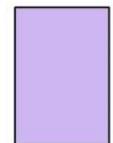
□研究するって面白い 科学者になった11人の物語 <岩波ジュニア新書> 伊藤 由佳理 岩波書店

科学道百冊



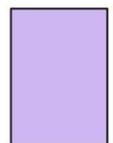
■勉強が死ぬほど面白くなる独学の教科書 中田 敦彦 SBクリエイティブ

勉強法



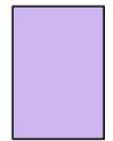
□数学ガールの秘密ノート 学ぶための対話 結城 浩 SBクリエイティブ

数学



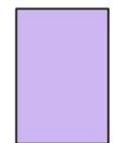
■自己肯定感の教科書 何があっても「大丈夫」と思えるようになる 中島 輝 SBクリエイティブ

メンタル



□プリン本 PUDDING BON 昭文社

おやつ



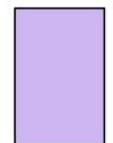
■MINIATURE TRIP IN JAPAN 田中 達也 小学館

アート



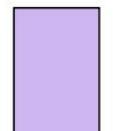
□残酷な進化論 なぜ私たちは「不完全」なのか <NHK出版新書> 更科 功 NHK出版

おススメ



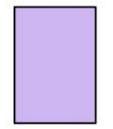
■新幹線の科学 進化し続ける日本の大動脈を支える技術 改訂版 <サイエンス・アイ新書> 梅原 淳

おススメ



□水辺のブッタ ドリアン 助川 小学館

小説



■いけない do not 道尾 秀介 文藝春秋

小説

